

## 石澤巖さん 旭日双光章受章!

石澤巖さん(谷津)が旭日双光章を受章されました。

石澤さんは、戦後間もなく猟友会に所属され、農作物などの被害を防ぐため、有害鳥獣を駆除する一方、鳥獣の保護にも尽力されました。子どもに危害を加えた猿の捕獲、町内に出没した熊の保護等、昼夜問わず警戒されたこともありました。



こうした功績が高く評価され、昭和45年には寄居猟友会長を就任。以来、埼玉県猟友会副会長、会長、大日本猟友会理事を経て、現在は、県の猟友会の相談役として、豊富な知識と経験を環境保全へ生かすべく活躍されています。

石澤さんは「身に余る光栄です。猟友会や地域の方々、他にも大勢の皆様のお陰で、このたびの受章があります。心から感謝しております」と話してくれました。

## 西野入代治さん 瑞宝単光章受章!

西野入さん(赤浜)が瑞宝単光章を受章されました。

西野入さんは、昭和34年4月に埼玉県警察官を拝命し、平成10年3月に退職されるまでの39年間、培った経験と秀抜した識見を持って職務を遂行されました。



昭和38年8月から寄居、富田、花園、折原、小前田の交番勤務を経て、昭和51年には看守勤務に就き、昭和55年からは留置管理等に携わりました。その後、熊谷、秩父、児玉での交番勤務等を経て、東松山の配属を最後に定年を迎えられました。住民生活の安全確保を第一に考え、職務に邁進されました。

西野入さんは「家族や同僚、住民の皆様の支えがあったからこそ、勤め上げることができました。多くの方にご指導いただき、大変感謝しております」と話してくれました。

## “一年中桜に出会える町”を目指して 「荒川グリーングリ」国土交通省から表彰!

寄居町で桜の町おこしを進めている「荒川グリーングリ」(大久保和勇代表)が、国土交通省から「みどりの愛護功労者表彰」を受け、5月18日に三重県紀北町で表彰式が行われました。



古くから桜の名勝地として知られていた寄居町ですが、近年はその多くが老木化し、かつての面影は薄れつつあります。このような状況の中、荒川グリーングリが平成19年4月に発足。同団体が中心となり「一年中桜に出会える町」を目指し、さまざまな種類の桜を植樹する活動や、桜マップの作成・配布などを行っています。

大久保さんは「このたびの表彰は県の推薦が認められたものですが、多くのメディアに取り上げていただき、身の引き締まる思いです。これからも、ただ桜をたくさん植えるのではなく、一本一本を大切に育て“桜の町寄居”に向けて、一層頑張っていきます」と話してくれました。

## 青木重信さん 瑞宝双光章受章!

青木重信さん(中郷)が瑞宝双光章を受章されました。

青木さんは、昭和45年3月に陸上自衛隊に入隊し、平成18年2月に1等陸尉で定年退官されるまでの35年11カ月間、豊富な経験と卓越した識見を持って職務を遂行されました。



入隊時は佐世保市相浦駐屯地で新隊員基本教育を受け、その後、旭川駐屯地、福岡駐屯地、那覇駐屯地の勤務を経て、平成6年には朝霞駐屯地に配属されました。朝霞駐屯地では、輸送業務や各種厚生業務、また、諸外国駐在武官との調整や埼玉県殉職隊員慰霊式典を統括する総務関係業務などに携わりました。

青木さんは「大変名誉なことであり、非常にうれしく思っています。この間、私を支えてくださった多くの方々に感謝するとともに、これまで自衛隊の任務に理解を示し、ともに任務完遂に協力してくれた家族に大変感謝しています。今後も、これまでの経験を生かして、地域の皆様のお役に立つよう努力したいと思っています」と話してくれました。

## 開催しました! よこい花まつり・寄居北條まつり

4月29日に金尾旧分校跡地で「第37回全国育樹祭記念よこい花まつり」、5月12日に玉淀河原や市街地通り等で「第52回寄居北條まつり」がそれぞれ盛大に開催されました。

よこい花まつりでは、金尾の獅子舞や三味線演奏等のアトラクションが行われた「芸能花舞台」を中心に数々のイベントが行われ、2,500人の観光客が訪れました。

寄居北條まつりでは、玉淀河原に550人の武者が集結し、町内をパレードした後、北条・豊臣の両軍に分かれ、玉淀河原で攻防戦が行われました。

第37回全国育樹祭記念  
よこい花まつり



第52回  
寄居北條まつり

